

RT55AP ボートからの降ろし方と上げ方

この例では、クイックリリースマウントは、MKA-16-02 を使用しています。

* まず初めに、RT55APのロックカラーの位置を調整します。

これは、初期に調整しておけば、次回から調整の必要はありません。

初期は、この位置にあります。



このロックネジを緩めます。



ヘッド部の方へスライドします。



注意 …… このロックネジの位置により、モータの水中の長さを調整します。

水中の長さは、30cm以上必要です。また、このロックネジが緩んでいると、首振りはしません。

ヘッド部とシャフトとメインモータが一体となり、サーボモータにより、強制的に回転させて首振りします。

(1) RT55APの降ろし方

1. ボート側のマウントに挿入します。



2. マウントのストッパーに当たるまでスライドさせます。



Point

この時、クイックリリースマウントのロックネジを忘れ無いように、締めて下さいね。

3. ロックレバーを引いて、シャフトを写真の用に手で押しても、固くて外れません。



注意

モーターの受台座をペーパー等で削り、外れやすくする方も、見えるようですが、走行中に落下の危険性がありますので、私は、余りお勧めしていません。

ロックレバーをカチッとはめて、ロックすれば、問題ないと思いますが、加工は貴方の自由です。

ただし、走行中にモーターが落水すれば、新品を再購入する位の、出費がいる事を、ご承知ください！



4. ロックレバーを引きながら、足でモーター部を軽くコンコンと押す感じで外します。



ロックレバーを引っ張れば、左記のように、ロックが外れてシャフトが抜ける状態になります。

Point

この時、人が落水の危険がありますので、しっかりとバウレールを持って、安全を確保してください。特に波があり、ボートが上下にピッチングしている時は、特に注意が必要です。

5. モーターが外れると、自重により、シャフトは、海水に向かって移動しますので、しっかりとシャフトをつかんで、デブスカラー(ストッパー)まで、降ろしてください。



6. 次にデブスカラー(シャフトのカラー)とサーボモーターカラーを合わせます。



Point

ヘッドを手で廻して、あわせませす。
これは、ハンドコンのスイッチにて、左右サーボモーターを手動で動かせば、切り込みにストンと落ちて、自然に合わせる事もできます。
この時、コイルコードが1回転以上になれば、必ず元に戻してください。

このカラーの切込みを合わせます。 矢印の位置です。 下記が正規にかみ合った状態です。



注意・・・このかみあわせが、不完全ですと、編磨耗して交換が必要になりますので、しっかりと、かみ合っている事を確認してください。

(2) RT55APの上げ方

1. リリースレバーを手、又は足で踏んで、水直ロックを外します。
このリリースレバーを下げる事により、シャフトの水直ロックが解除されます。
このロック機構が破損すると、モータ回転をあげた時に、モーターがはね上がります。



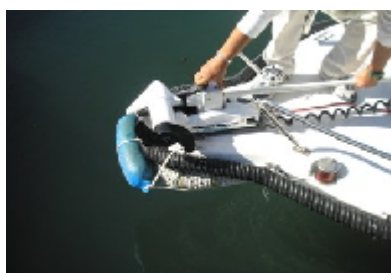
2. リリースレバーを押しながら、ヘッド部、または、シャフトを持って、上に引き上げながら、ポートの方にひっぱり上げます。



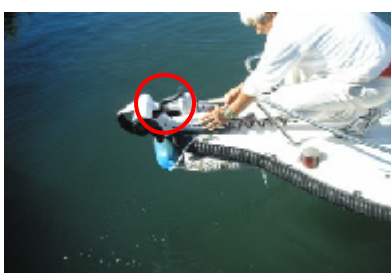
3. シャフトを水平にすると、ロックが自動的にかかりますので、シャフトを引っ張ります。



4. モーターの受台座にカチッと音がするまで、ロックレバーとシャフトを強く引っ張ります。



5. モーター本体を収納後は、右の写真のように、確実にロックされているか、必ず目で確認するくせをつけてください。



注意

このロックが不完全ですと、脱落の可能性が有りますので、充分気をつけて、ください。

